

2. 仮説

漢字指導において字義と用法を理解させ、興味を持たせる指導法をくふうしていけば定着するであろう。

3. 研究計画

- (1) 方法 1群法による
- (2) 対象 6年1組27名(男16, 女11)
- (3) 組織 個人研究
- (4) 日程

① 研究計画の樹立

- ア 実態調査 6月
- イ 文献研究 6月～8月
- ウ 研究計画, 仮説の決定 9月

② 検証

- ア 教材研究, 指導計画の作成 9月
- イ 事前テスト 11月
- ウ 検証授業 11月
- エ 事後テスト 12月
- オ は持テスト 12月

③ 整理

- ア 結果の処理と分析 12月
- イ 研究のまとめ, 反省, 考察 12月～1月
- ウ 研究報告書の作成 1月
- エ 発表 2月

4. 概要と考察

(1) 研究の経過

① 文献研究

ア 参考文献を選択し、漢字指導の基本的な考え方および指導計画での位置づけ、指導の方法などを研究した。

イ 書写力の実態調査をし、子どもの誤答の傾向と問題点のは握に努めた。

ウ 漢字の意味と使い方を理解させるといふ仮説に立ち、3つの観点による指導法を導きだした。

- ㉞ 漢字の形、音訓を手がかりに正しく書く指導
- ㉟ 字義をわからせ、用法に慣れさせる指導
- ㊱ 漢字に取り組みさせるための高学年なりの指導法(ゲーム化)のくふう

② 検証授業の計画

- ア 単元名 アメリカへ渡る(東書6年下)
- イ 目標 人物のしたことや考えたことを読みとらせ、その人がらについて考えることができるようにする。

ウ 指導計画 総時数9時間

- ㉞ 全文を読み、学習計画を立てる。……………1
- ㉟ 熟語、ことば調べをする。……………1
- ㊱ 文章をくわしく読みとる。……………4

㉞ 全文を読み、論吉の人がらや、考え方についてまとめる。……………1

㉟ 文字、語句の練習、テストをする。……………2

㊱ 他の伝記文を読む。(課外)

③ 検証授業その1(指導計画の㉟)

- ア 本時の目標
  - 新出漢字の読み方, 意味をわからせる。
- イ 指導過程

学習活動・内容	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ	
2 ひとり調べをする。 ○全文通読 ○ノートづくり	○いつもの方法でノートにわくをとらせ、読み方、意味を辞典を使って調べさせる。
3 新出漢字についてわかったことを発表する ○音訓の読み方 ○字画 ○意味、字義	○漢字カードで漢字の読み方、筆順、音訓、字画等にふれる。 ○漢字練習表を渡し、自由に好きなところから書きこませ、練習するようにさせる。 ○OHPを利用し、字義にふれる。
4 次時の予告を聞く	

④ 検証授業その2(指導計画の㊱)

- ア 本時の目標  
文字、語句、ことばの用法を練習する。

学習活動・内容	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 文字、語句、ことばの使い方を練習すること	○練習のめあてをもたせるようにする。
2 漢字を読む ○読み替え 易しい馬力 日本人、問答 図る、休息、	